

東北3県における受信環境整備状況（11月末現在）

- [岩手県]**
- 新たな難視対策残は、共聴新設200世帯(12施設)は1月～3月に対策予定で、残りは年内に対策完了予定。
 - 辺地共聴残は、935世帯(15施設)は3月までに対策予定で、残りは年内に対策完了予定。
 - 暫定衛星対策及び戸建て住宅は年内に対策完了予定。受信障害対策共聴及び集合住宅共聴は対策完了。

対策手法	新たな難視 (恒久対策)	暫定衛星対策	辺地共聴	受信障害 対策共聴	集合住宅 共聴	戸建て 住宅
総対策数 (世帯)	5,332	13,735	28,377 (537施設)	36,775 (588施設)	105,400 (18,680施設)	329,000
対策残数	940	28	1,380 (28施設)	0	0	1,132
対策率	82.4%	98.8%	95.1%	100.0%	100.0%	99.7%

※ 新たな難視とは、中継局置局、共聴新設、CATV加入、高性能アンテナ対策等による恒久対策。 ※ 津波流失の施設世帯は含まない。

- [宮城県]**
- 新たな難視対策残は、共聴新設161世帯(2地区)及び高性能アンテナ対策約140世帯は1月～3月に対策予定で、残りは年内に対策完了予定。
 - 受信障害対策共聴残は、95世帯(2施設)は3月までに対応予定で、残りは年内に対策完了予定。
 - 暫定衛星対策、辺地共聴、集合住宅共聴及び戸建て住宅対策残は年内に対策完了予定。

対策手法	新たな難視 (恒久対策)	暫定衛星対策	辺地共聴	受信障害 対策共聴	集合住宅 共聴	戸建て 住宅
総対策数 (世帯)	6,122	9,091	6,218 (137施設)	142,288 (1,678施設)	354,600 (43,120施設)	451,000
対策残数	1,424	23	2(1施設)	148(4施設)	7(1施設)	67
対策率	76.8%	97.7%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%

※ 新たな難視とは、中継局置局、共聴新設、CATV加入、高性能アンテナ対策等による恒久対策。 ※ 津波流失の施設世帯は含まない。

[福島県]

- 新たな難視対策残は、旧緊急時避難準備区域の対策世帯28世帯以外は年内に対策完了予定。
- 辺地共聴は、残る110世帯(1施設)が1月に対策予定。
- 暫定衛星対策残は、旧緊急時避難準備区域の対策世帯約80世帯以外は年内に対策完了予定。
- 受信障害対策共聴は、200世帯(3施設)は3月までに対応予定で、残りは年内に対策完了予定。
- 集合住宅共聴残は年内に対策完了予定、戸建て住宅は対策完了。

対策手法	新たな難視 (恒久対策)	暫定衛星対策	辺地共聴	受信障害 対策共聴	集合住宅 共聴	戸建て 住宅
総対策数 (世帯)	881	23,327	8,408 (216施設)	96,909 (1,058施設)	174,000 (28,440施設)	466,000
対策残数	58	321	110(1施設)	245(4施設)	80(12施設)	0
対策率	87.7%	98.6%	98.7%	99.7%	99.9%	100.0%

※ 新たな難視とは、中継局置局、共聴新設、CATV加入、高性能アンテナ対策等による恒久対策。

※ 津波流失及び原発事故避難区域(警戒区域、計画的避難区域)の施設世帯は含まない(辺地共聴は津波流出の施設のみ除外)。